

天王森泉公園 生き物調査と自然観察会

2023.1.7 (土) 晴れ 参加者：10名 9:00~15:30

新年早々の調査観察会は、雨や雪模様などと2・3日前から天気予報が変わり続け、当日はなんと穏やかな日差しの日となりました。そのため皆様に見ていただきたかったシモバシラは現れず、少しがっかりしましたが元気の良い生き物たちを観察できました。

野の花苑一見晴らしの丘一くわくわ森(樹木伐採中のため、いつもの半分)一周辺道路一田んぼ一俣野、下飯田遊水地と回りました。 **外一外来種 園一園芸種**

野の花苑 シモバシラの氷の花は気象条件(気温1・2度、晴天、無風)で見られますが、今はワビスケがひっそり咲き、センリョウ、マンリョウの実が彩をそえています。



黄実千両 キミセンリョウ
と千両 センリョウ



万両 マンリョウ



白侘助 シロワビス



霜柱 シモバシラ 1/4



ガガイモ タネ



花

近くで見つけたガガイモの実を持ってきてくれました。9月に淡紫色の毛が密生した1cmほどの花をつけ、秋に実がなります。実の大きさは10cmで、その中に7mmの種に直径6cmの綿毛がびっしりと並び、割れて風とともに飛んでいきます。ケサランパサラン(白い毛玉の謎の生物)と言われた物の正体といわれています。実は裂けると船形になり、神話でスクナヒコナはガガイモの船に乗り、海の彼方から日本の国づくりに駆けつけたといわれています。



雪割一華 ユキワリイチゲ
いつもは1月末に葉を広げ、2月になると花芽を出しますが、昨年12月から葉が出ています。小さな花芽も顔を出しました。



素心躑躅 ソシンロウバイ 外
花が2.3輪咲きましたが、まだ葉がいっぱいついてるので目立ちません。寒くなって北風が吹くと、葉が散り花が綺麗に見えます。



カワラヒワ



ジョウビタキ♀



クリハラリス
ムクノキの実を
食べる

弁天坂



黒鉄鱗 クロガネモチ



南天 ナンテン



ホソチャタテ
先月見つけた虫をまた見つけました。6mm大なので虫眼鏡を使って全員が見られました。アオキの葉裏にいます。

見晴らしの丘

冬越しのロゼットがありました。



西洋蒲公英 セイヨウタンポポ **外**



金蘭草 キランソウ



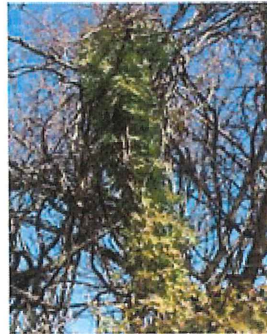
庭石葛 ニワゼキショウ **外**



酸葉 スイバ



背高泡立草 セイタカアワダチソウ **外** 繁殖力が強いので、刈るよりも引き抜いたほうが良いので引き抜くと、もう新しい葉がついている。



蟹草 カニクサ シダの仲間、1枚の葉が2m近いツルになる。左写真も高く木に絡まっている。このツルでカニ釣りをしたので名がついた。別名ツルシノブ



エゴノキ冬芽 主芽の下に必ず予備芽がついているのが特徴で、他の木にはない。

くわくわ森

森ではコナラ・クヌギのカシナガの被害で枯れたもの、背が高過ぎるものを伐採したり、丈詰の作業が行われていました。野鳥の混群が目の前に現れ双眼鏡なしでも、野鳥の行動がよく見られました。



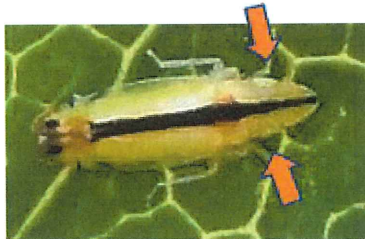
素心蝶梅 ソシンロウバイ **外**



藪椿 ヤブツバキ



鶯の木 モチノキ



クロスジホソサジヨコバイ ヨコバイ科 常緑樹などについて汁を吸い、ヤツデなどの葉裏で越冬します。体調は6mm 虫眼鏡の登場です。頭は右か左かわかりづらいですが、右が正解。お尻の方にある一対の黒い点が目のように見えますが、天敵の鳥が間違えてお尻を啄んでいる隙に逃げる戦術らしい。頭の両側につく本物の目(複眼)は体の色と同じで目立たない。



エナガ ピンポン玉に長い尻尾と覚えて、ジュリジュリと鳴く



メジロ チョウベエ・チュウベエ チョウチュウベエと鳴く

野鳥の混群 晩秋から冬にかけて、シジュウカラを中心にエナガ、メジロ、ヤマガラ、コゲラなど種類の違う鳥たちの群れ

- ・群れだと多くの眼があり敵を見つけ逃げやすい。
- ・群れは目立つが、共同で敵にあたり追い払える。
- ・小さな群れよりも警戒する負担が減り餌を取る時間が増え、採る効率が良くなる。
- ・それぞれの鳥が得意な場所と方法で食事をするため、群れでも餌を取り合うことが少ない。

エナガ→主に細い枝、シジュウカラ→枝や地面、ヤマガラ→少し太い枝、コゲラ→幹のあたり 体のサイズによって棲み分けている様です。

くわくわ森で見聞きした生き物：ヒヨドリ、ガビチョウ、シジュウカラ、ヤマガラ、ウグイス

外周道路～森側溝

黒い木の実が目立ちます。



姫榊 ヒサカキ



忍冬 スイカズラ



唐鼠鱗 トウネズミモチ 外



水蛭の木 イボタノキ
この枝に寄生するイボタロウカイガラムシの雄が、分泌する白蠟をイボ取りに用いたことから名がつく。



榛の木 ハンノキ
水に埋もれて育つため、水田の脇に植えて稲掛けの梁（ハリ）に使ったことからハリノキ～ハンノキと呼ばれた。

田んぼ～遊水地



西洋蒲公英 セイヨウタンポポ 外



チョウゲンボウ ♀



ノスリ

俣野遊水地・下飯田遊水地



秋茱萸 アキグミ
葉が落ち赤い実がたくさん残っている。12月には渋みがあった実も、甘くなっている



アマゾントチカガミ 外
12月に水路を覆っていたのになんまり減った。除去したのか、寒くて減ったのか？外来種で繁殖力が強かったのが良かったです。



カワセミ ♂
和泉川の岸壁にへばりついて餌を狙っている。光線の具合で川の中の魚が見える位置にいる。



ハクセキレイ 和泉川



キセキレイ 和泉川



シジュウカラ



ホオジロ



モズ♀



オオタカ



カンムリカイツブリ



アオサギ

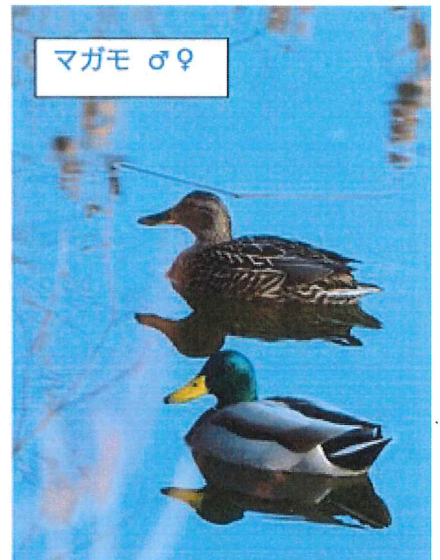
下飯田遊水地の上空にオオタカを見つけ写真を撮っていました。そのうちあっといいう間に急降下をして、私たちの2、3m前でハクセキレイを追いかけて始めました。たった3、4秒ほどでしたがハクセキレイは逃げ、オオタカは飛び去りました。何もできず息を呑んで見守るばかりでした。



カワウ

見聞きした野鳥：アオジ♀・モズ♂・パン・オオパン・クイナ・カルガモ・ハシビロガモ♂♀・コガモ・ヒドリガモ・キンクロハジロ・コサギ

カワウは潜水して魚を追いかける鳥なので、羽毛は撥水性がなく濡れやすい。木や杭で羽毛乾かす姿が見られる。



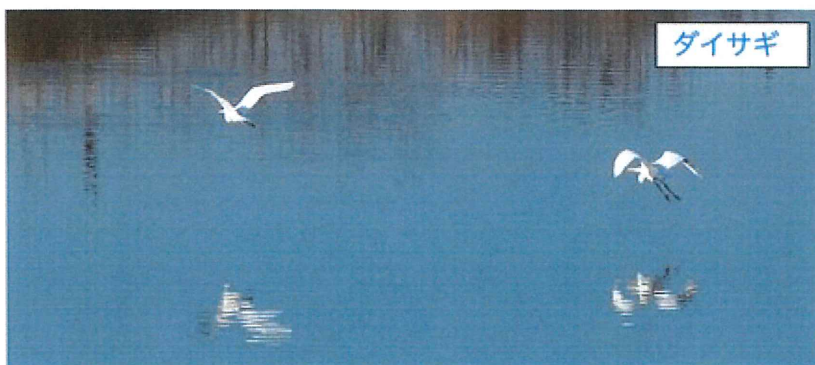
マガモ♂♀



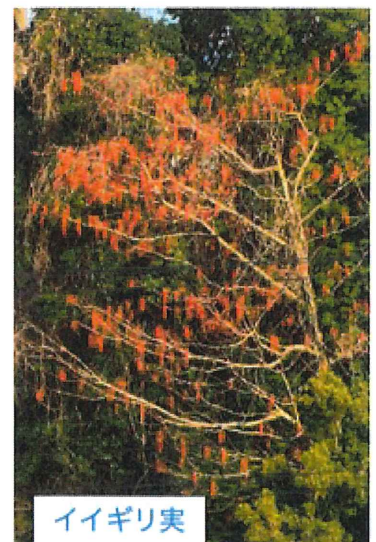
カイツブリ



ヨシガモ♂



ダイサギ



イイギリ実